



私と手話

久保沢 寛

本日の話の流れ

1、私の生育歴

2、私にとっての手話

3、養育・教育における手話

—「手話を獲得する」ことの保障—

本日の話の流れ

1、私の生育歴

2、私にとっての手話

3、養育・教育における手話

—「手話を獲得する」ことの保障—

私の家族と家庭内言語

- + 父・母・兄・僕 デフファミリー
- + 手話で育てられた
- + 父...ろう学校出身
- + 母...普通学校出身
- + 兄...中学までろう学校、高校は普通学校

私の家族にとっての日本語

+ 親戚と話す（父方とも母方とも）

+ お店や役所、会社、友人、友人の親と

話すための手段の中の一つ

私の教育歴

- + 立川ろう学校早期教育部→幼稚部→小学部
- + →武蔵野市立第一中学校（難聴学級あり）
- + →東京都立小平高等学校
- + →1年間浪人（予備校：体育進学センター）
- + →日本大学
- + →京都教育大学大学院

私はどのように「手話（第一言語）」
を獲得したか

+ 小さい頃から手話も日本語も身近にあった

+ 手話で言葉の概念を知っていたから、

日本語でも言葉の概念を獲得できた

私の「日本語（第二言語）」の習得 はどのようなものであったか

- + ろう学校幼稚部...発音の訓練
- + ろう学校小学部...日本語の学習

①助詞の習得

「私 **は** りんご **が** 好きです」

②書記日本語の習得

作文、日記、読書

本日の話の流れ

1、私の生育歴

2、私にとっての手話

3、養育・教育における手話

—「手話を獲得する」ことの保障—

私にとっての手話とは？

- + なかったら、これまで歩んできた人生
そのものが無くなる。
- + 自分の言葉で伝えたいことを伝えられる。

私の思考や記憶の様式は？

- + 映像思考・・・タンスの引き出しをあさる感覚
写真の時もあれば、動画の時もある。
- + 思い出す時は、その場面を
引っ張り出して、映し出す。

私にとっての日本語とは？

口話（発話・口読）

に限って言えば...

必ずしも必要なものではない。

手話と日本語（口話）の違い

- + 口を読み取ることに必死。内容覚えていない。
- + 感情を取られたような感覚
- + 手話ならいろんなことのルール説明が可能。
「僕がカルタを探す」と「僕をカルタが探す」

友人とのコミュニケーション

+ 小学部→手話、口話、キューサイン等々

- ・手話のレベルに関する経験

+ 中高→口話メイン

- ・居場所（手話のある場所）があるから冒険できた

本日の話の流れ

1、私の生育歴

2、私にとっての手話

3、養育・教育における手話

—「手話を獲得する」ことの保障—

養育・教育における手話

+ 幼少期からの手話との出会い

+ 手話を獲得して生きる先輩との出会い

= ロールモデルの存在

手話について

- + 手話にも方言や世代間ギャップはある
- + 厳密な標準手話はまだ、ない？

手話について

わからない部分が明確になる

= 尋ねることができる

だから、完全にわかる！

養育・教育において大切なこと

最後に...

+ 「声が響き手話がはずむ

希望のある学校づくりを目指して」

奈良県立ろう学校 スローガン